

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 TEL 3399-2196

“ゆでガエル”にならないために

校長 香西 雅斗

科学と自然の散歩みちではムクゲやサルスベリの花が夏を感じさせますが、雨の多い日が続いています。3年ぶりの梅雨らしい梅雨です。

表題の“ゆでガエル”は「カエルをいきなり熱湯に入れると驚いて逃げ出すが、常温の水に入れて少しずつ温度を上げていくと、逃げ出すタイミングを失ってしまう」というお話です（実験で実証された事実ではありません）。『危険度が少しずつ上がっていくと、その状態に慣れ、いつの間にか手遅れになっている』というビジネス関連の警句です。

6月1日に学校が再開した翌日、東京アラートが発令された時の東京都の新規の新型コロナ感染者数は、35人でした。現在は200人を超える日が続いており、200人を割ると「今日は少なかった」と感じるのは“ゆでガエル”一歩手前かもしれません。“ゆでガエル”にならないためにも、1学期を振り返り、2学期に向かいましょう。

【1】人と関わり活動している限り、感染を完全に防ぐことはできません。(No397 6/30 発行)

7月に入り「弟妹の通っている園でPCR検査陽性者が出て、弟妹もPCR検査を受けるので、結果が出るまで、念のため登校を控えます。」という連絡が保護者の方から入りました。

慎重な御配慮ありがとうございます。家庭内での感染を防ぐことは、家でもマスク生活をしないかぎり困難です。ですから学校で陽性者がでることは、驚く様なことではなく、誰にでもありえること。だからこそ次が大切です。

【2】感染が広がる確率をできるだけ下げることが最も重要なことの一つ。(No396 6/12 発行)

肝心なのは、重症の方が十分な医療を受けられるために、医療がひっ迫しないようにすることです。そのためできることは、学校でも感染をできるだけ広げないことです。

陽性者がでることが驚くことでないなら「自分がウィルスを出しているかもしれないことを前提に生活する(6/12)」が必要です。だからこそ

①「自分の物、場所以外には触らない。何人かで使うものは消毒する」
②「食事の前、部活の前後の手洗いの徹底」 ③「話をする時は、必ずマスクをする」が習慣になるよう取り組んでいます。

【3】自分たちの安全が守れる『新しい生活様式』を習慣にして活動を広げていこう。(No397 6/30 発行)

学習内容に制限の多い1学期でした。時差登校と学年分散は、感染状況を見極めるため、取りあえず8月中は続けます。その上で、**杉並区のガイドライン(2学期以降)**に沿って、感染症予防に十分配慮しながら、話し合

い活動や、理科の実験、音楽では歌唱、体育では体づくりやダンス以外の運動、技術家庭科での作成実習などに取り組んでいく予定です。(調理実習などハードルが高い内容もあります。)



<ヤゴ救出小作戦>



<体育の授業～体づくり>

【4】“教えてもらう”“させられる勉強”から『自分で決め、選び、考える』学び (No395 5/27)

臨時休校期間中、正解が分からないことに不安を抱きながら、生徒の皆さんは“学び”を進めてきました。その苦労は、6月からの授業で、確かに実を結んでいます。2年国語の取組を紹介します。

三月二日 (二A生駒勇介)
僕は今、就職のことで頭にいる二人の僕がケンカをしている。母は「二十二歳になったんだからそろそろやりたい職業を決めなさい。」と言う。僕は安定した収入を得られる仕事に就くか、ぐうちゃんのような自由な仕事をするか、で迷っているのだ。頭の中の一人の僕は言う。「安定した職業に就けば、母さんが喜ぶし、親孝行ができるから、こっちの方がいいんじゃない？」僕の心は安定した仕事を選ぶほうとしていた。だが、ぐうちゃんの言葉がよみがえる。「世界は楽しいこと悲しいこと美しいことで満ち満ちている。」ぐうちゃん存在は余りにも大きかった。僕は覚悟を決め、母に将来のことを報告する決心をした。

休校中の課題「アイスプラネット」を読み

- ① ぐうちゃんはどうの人だと思いか。また、そう思った理由。
 - ② ぐうちゃんのどの言葉が「僕」の記憶に深く残るだろうか。
 - ③ ②の言葉は、いつ、どんな時に「僕」の中によみがえってくるだろうか。
- をもとに6月からの授業で読みを深め、もう一度 ③ に取り組んだ成果です。

『二年国語教室通信』には、たくさんの生徒の素晴らしい取組が紹介されています。

【5】みんなで中瀬中を『前人未踏』のステージに押し上げていきましょう。(No395 5/27 発行)

今年度の体育大会がこれまでの様には行えそうもないことは、生徒の皆さんにも見えてきていると思います。本当に残念ですが感染拡大予防のため、ムカデ競争や大縄跳びなどそもそも練習すら難しい種目、密集できない生徒席、リレーで使うバトンなど、数々の難題があります。

でも「同じ仕事でも、見方によって、受け止め方や結果が180°変わる (No392 5/4 発行)」。中瀬中生の知恵を集め、みんなでこの「ピンチをチャンスに (No391 4/6 発行)」変えてみませんか！



<3年生 進路説明会>

みんなの知恵を集め『新しい中瀬中の体育大会』を作ろう

PTA 役員の方の協力で、休校中の「おはキャン」コーナーをリニューアルし、「コロナだからできる体育大会」のアイデア～種目形式など～を募集します。

期間は、8月3日(月)から20日(木)。集まったアイデアは、先生たちだけでなく、生徒会役員にも伝えます。

互いに応援し合い、認め合い、みんなで楽しめる「コロナだからできる体育大会」を中瀬中生で作っていきましょう。

(なお休校中にあった質問連絡コーナーは8/17～22に稼働します。こちらは保護者の方もどうぞ。)

杉並区教育委員会よりの連絡

(1) 夏季休業日中における学校閉庁日の実施について

杉並区教育委員会では、教員が心身の健康を保持し、やりがいをもって教育活動を行うことができる環境を整えていくことにより、学校教育の更なる充実を図ることを目的に、学校における教員の働き方改革を進めています。その取組の一つとして、昨年度と同様、夏季休業日中において教員が出勤しない日(いわゆる学校閉庁日)を設定することとしました。皆様方のご理解、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

1 実施日程 8月11日(火)～8月14日(金) 4日間

2 上記の日程においては、教員は出勤しておりませんので、緊急な要件以外はこの日程を避けてご連絡、ご来校いただきますようお願いいたします。緊急に学校への連絡が必要な場合は、【緊急連絡先】済美教育センター教育 SAT 03-3311-0023 にご連絡ください。

(2) ICTを活用した教育活動(臨時休業対応だけでなく「いつでも」)をさらに充実させていきます

一人一台専用のタブレット端末の配備を進め、年内を目途に運用を始めます。また、学校と子どもたちのつながりを第一に考え、ICT環境を活用した「オンラインホームルーム」を実施します。Web会議システムで、健康観察や学習課題の確認など、教師と子どもが対面してコミュニケーションを図ることができます。